



今月の記事

リハビリテーション

近ごろの愛の園

ユニットケアの壺

リレーエッセイ

7~8月の予定



「体、心、環境」3つのリハビリテーション 理学療法士 大西幸宏

体のリハビリテーション(以下リハビリ)は硬くなった関節や弱くなった筋肉を改善し体を動きやすくするためのリハビリです。心のリハビリは不安の解消のためのリハビリです。例えば膝の痛みが出てきたが「すぐ治るものなのか?何が原因で痛くなっているのか?」と不安を抱いたままでは、生活や行動範囲を狭めてしまいます。早い段階で原因を把握し対応することで安心感が生まれます。環境のリハビリは、杖や手すりの高さや位置調整、車いすやベッドの選択など、生活環境を調整し活動性を高めることで普段の生活がリハビリになります。歩くのが不安な方が手すりを使用し不安なく歩く。車いすを使うことで自由に動き回れるといった生活を活動的に行うきっかけになるのが環境のリハビリです。また自分で動くことが難しい方の寝心地や座り心地を改善し安楽に過ごしていただくことで新たな障害予防につながります。

介護者の声掛けや介助方法も重要です。適切な動作介助を継続して行えば、その方の本来持っている動きの可能性を導き出せるかもしれません。今より良くなるためにどうしたらいいのかをみんなで考え、形にしていくのがリハビリです。介護の現場に笑顔を増やすために一緒に頑張りましょう。



6月から毎月第4土曜日に理学療法士の大西幸宏さん(スマイリング訪問看護ステーション)に来園いただいています。入居者・利用者の皆さんの日常生活が豊かで安全であるよう、リハビリテーションのための専門的なアドバイスをいただくこととなります。よろしくお願いたします。



岩田の施設に見事なおユリが咲いています。花言葉は「愉快」「陽気」。夏らしいですね。

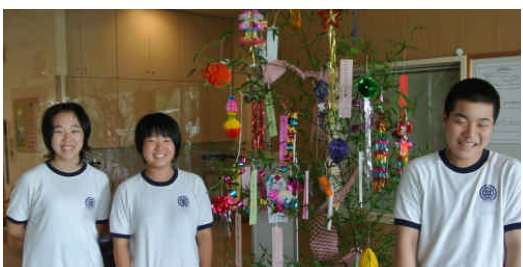
近ごろの愛の園 あんなこと、こんなこと



大西理学療法士の1回目の訪問では3人の入居者に出会っていただき、体を支えるクッションや車いすの適合具合などに助言をいただきました。 6/23



毎月第1月曜日に訪ねてくれる「まりもと愉快的な仲間たち」の皆さん。いろいろな犬種の芸当やふれあいに歓声が沸き、時間を忘れて楽しめます。 7/2



上富田中学校の2年生が介護の職場を体験するため3日間の訪問に。健康教室で入居者の皆さんと交わり、七夕飾りも仕上げてくださいました。 7/3-5



3ユニットでMさん87歳、Hさん78歳の誕生日を祝いました。Mさんからは感謝の言葉が、Hさんご家族からは「来年も一緒に!」との挨拶がありました。7/8



ユニットケアの壺 II (5) 「ご家族・お友達と共に」

特養・愛の園は1972年に建てられました。平屋で開放感があり、廊下幅は基準を大きく上回り、入居者一人一人に色分けされた壁面収納が用意されていました。当時としてはとてもよく考えられたゆとりのある設計でしたが、病院をモデルとして居室は1室8名で食堂はありません。食堂・浴室増設など改修を繰り返した後、2007年にユニット型を採用して全面改築しました。愛の園にとって大きな変革でした。

度々お伝えしていますが、特別養護老人ホームは治療(病院など)やリハビリ(老健など)のための場所ではありません。自宅での生活が困難になった方々が、転居して必要な支援を受けながら暮らしを続ける場所であり、ユニット型施設では10人単位でより個別的なケアを受けながら生活できるように配慮されています。

ただ、ご自宅を離れてこれまでの暮らしを継続することは住まいだけでは実現できません。入居前に共に生活されてきたご家族・ご親族、また地域の方々との交流は、暮らしを続けるために欠かせない大切な要素のひとつです。

入居者の皆さんによって事情が異なりますから可能な範囲でとなりますが、ご家族、ご親族、ご友人、ご近所・地域の方々などできるだけ豊かに交わりが続けられることを願っています。面会は祝祭日や曜日に関係なく朝8時30分頃から夜21時頃までいつでもお越しいただけます。ご多忙の折、また遠方にお住まいで直接の訪問がご無理な場合にも、電話のお取次、手紙、FAX、荷物のお届けなどを通じて交わりを続けていただけるようお手伝いしています。ご遠慮なくお申し出ください。

リレーエッセイ(68) 「祖母の心の糧」

ユニットリーダー
濱口友喜



今年10月20日で88歳の米寿を迎える祖母がいます。

常々、祖母の信仰心には頭が下がる思いがします。人並み以上の気持ちの入り様で、長い時間経を唱えています。自分の健康のことはさておき、まず子供のこと、孫のこと、そして今年生まれた曾孫のこと、一人ひとりの名前を言い、

祖母の思いや願いを語り続けています。その空間は家族の誰もが声をかけるのを躊躇してしまいます。

毎年8月23日の地蔵盆には、手づくりの新しい前かけを地蔵尊に掛けます。5月のゴールデンウィークの頃から2ヶ月余りにわたって、毎日少しずつ縫っていきます。関節リウマチを患い

手先が不自由な祖母が、一枚一枚、心を込めて縫い上げ地蔵盆に間に合わせています。布地は、朱赤やピンク、水玉模様や手毬模様、花模様など、色鮮やかにかわいらしい作品が出来上がります。この作品一枚一枚に祖母の思いがぎっしりと詰まっていると言えるでしょう。祖母にとっては、生活の一部であり、楽しみや期待も含まれており、生きがいに結びついていることを側で見て感じます。

年老いても一つひとつ自分が出来る事を着実に遂行していく祖母を、私は大いに尊敬しています。祖母が生きている間は、介護職に携わっている孫の私が、祖母の為に協力して心の糧の応援をしていきたいと思ひます。

今回は2ユニットリーダーの伊藤美奈子さんをお願いします。

「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56
TEL (0739)47-1234
FAX (0739)47-4329
Email ainosono@shinai.or.jp

Facebookもチェック 
<https://www.facebook.com/shinaikai>

ホームページもご覧ください。
バックナンバーを掲載しています

<http://shinai.or.jp>

7～8月の愛の園

- 10(火) マリア会
- 12(木) やまびこ会
- 13(金) 福祉ネイル
- 15(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
- 16(月) ヨガ教室 マッサージ
- 19(木) やまびこ会
- 22(日) 礼拝(聖餐式)
模擬店(綿菓子・かき氷)
- 23(月) ヨガ教室
- 24(火) マリア会
- 25(水) 歯科診療
- 26(木) やまびこ会
- 27(金) 福祉ネイル
- 29(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
- 30(月) ヨガ教室
- 2(木) やまびこ会
- 5(日) 礼拝(み言葉の礼拝) 夏祭り

編集者から

七夕を控えて設備担当職員が近くの竹林から、正面玄関、デイサービス、各ユニットの七夕飾りのため竹を切ってきました。

毎年その場所は他の社会福祉施設の方々も来られているようで、この時期は行くのが少し遅れると良い竹があまり残っていないこともあり、人気の場所になっています。

今年も飾り付けと共に短冊には入居者の皆さん、職員ともに願い事を書いています。現実的な願い事から大きな夢のような願い事まで様々であり、よく意味の分からない短冊もありますが、自然と笑顔になり癒されます。

願い事が叶えば良いなどは思いますが、例え叶わなくても入居者の方々との楽しい時間を共有できるよう今後も続けていきたいと思っています。(I)